

日航に統一要求に基づく争議解決の決断を迫る 2.16決起集会

3 労組統一要求に答え、日航は争議解決を決断せよ！

被解雇者の所属する日航乗組、CCU、機長組などは、職場復帰や解決金など4項目の統一要求を提出し、日本航空に争議の早期解決を迫る闘いを進めています。昨年9月には管財人の不当労働行為を断罪する最高裁決定が出され、解雇に正当性がなかったことが明確になりました。ILOは3次勧告で解決に向けて「意義ある話し合い」を求めています。厚労大臣も国交大臣も労使の話し合いを求め、「日航が適切に対処すべき」と国会答弁しています。そして今、日航の現場は深刻な人員不足で、職場は人員増、ペテラン層の補充を求めています。しかし日航は解雇した労働者を戻さず、勤務の改悪で乗り切りようとしています。今日本航空がすべきは、勤務改悪ではなく、3労組統一要求に答え解雇争議の解決を図ることです。

日航は争議解決を決断せよ！「日航に統一要求に基づく争議解決の決断を迫る決起集会」を下記の通り開催します。本決起集会はJAL不当解雇撤回国民共闘の第7回総会も兼ねて開催されます。多くの方の参加を呼びかけます。

- 1. 日時：2月16日(水) 18:30～20:30**
- 2. 場所：文京区民センター 3A会議室**
- 3. 内容：1年間の運動の到達点と今後の方針**

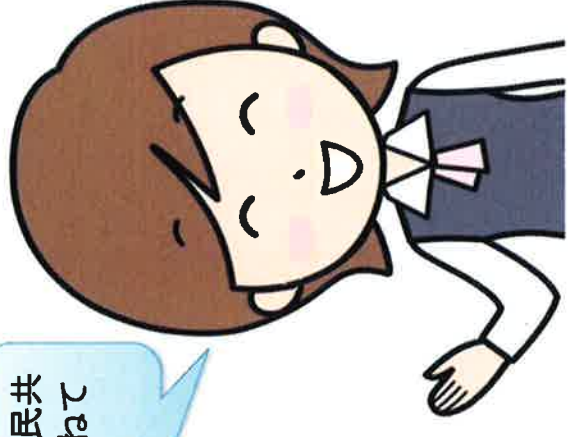
弁護団報告

矛盾噴出する日航の職場と運動の現状

ともに闘う仲間から

争議団代表の決意表明

本集会は国民共闘の総会も兼ねて開催されます。



主催：日本航空の不当解雇撤回をめざす国民支援共闘会議 (TEL: 03-3742-3251)